



国土交通省 北陸地方整備局

新潟国道事務所



国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路 立体道路工事を推進します ～令和7年度工事のお知らせ～



栗ノ木バイパス周辺では、これまで栗ノ木川の付替えや道路位置の切替え、路面の高さを下げる工事などを実施し、令和6年度に橋梁上部工事に着手したところです。

つきましては令和7年度の工事予定と進捗状況についてお知らせします。

令和7年度には立体道路の橋脚が65基まで着手済(全84基中)となり、橋梁上部工も1,217mが工事発注済(延べ延長2,810m中)となります。

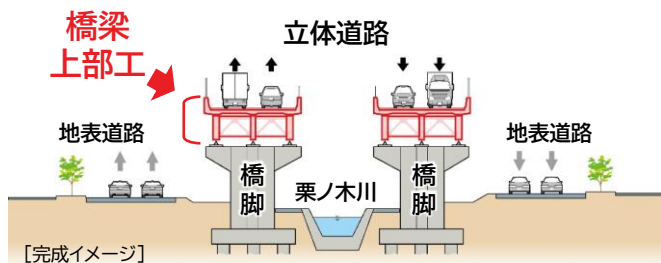


<現地状況> 紫竹山より万代島方面を望む



令和7年3月18日撮影

<橋梁上部工の範囲>



お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所

計画課長 若狹 寛樹(わかさ ひろき) (内線261)

新潟市中央区南笹口2-1-65

電話 025-244-2159(代表)

<https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/>

FAX 025-246-7763



HP

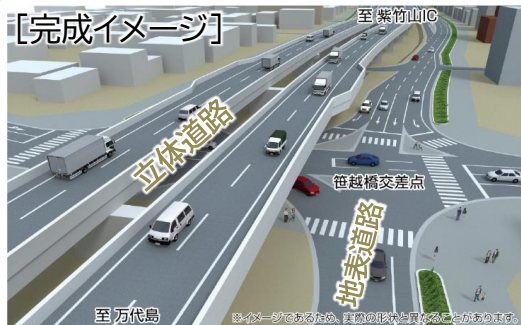


X(旧Twitter)

国道7号 栗ノ木バイパス周辺の 令和7年度工事予定のお知らせ

[別紙1]

〔完成イメージ〕



栗ノ木バイパスの渋滞緩和、安全性向上などを目的として、立体道路の整備を行っています。

「通過する交通」は立体道路へ、「地域の交通」は地表道路へと整理することで、交通の流れがスムーズとなり安全・安心な道路を目指します。

① 立体道路の橋梁上部工事

令和6年度に工事契約した笹越橋交差点付近と鑑交差点付近の橋梁上部工事(延長計414m)に加え、笹越橋～鑑交差点間と、紫竹山交差点付近における橋梁上部工事(延長計768m)に着手します。これにより、約43%(1,217m/2,810m)に着手することとなります。

② 立体道路の橋脚工事

工事中の13基に加え、新たに11基の工事を行います。これにより、完成している41基とあわせ、約77%(65基/84基)に着手することとなります。

③ 道路整備工事

引き続き、道路位置切替えに向けた道路整備を行います。

④ 南紫竹IC(出口)整備に向けた準備工事

引き続き、南紫竹IC(出口)の整備に向けた基盤整備を行います。

⑤ 紫竹山交差点～紫竹山IC間の道路切り替え工事

インターチェンジの橋脚を整備するために、道路位置を切り替えます。

〔位置図〕 主な整備区間



< 立体道路の進捗状況 >

令和7年4月1日時点	橋脚数	上部工延長*
全体数(合計)	84基	2,810m
令和6年度までに完成	※41基	※35m
令和7年度工事	24基	1,182m
工事中	13基	414m
令和7年度着手	11基	768m
令和8年度以降	19基	1,593m

< 立体道路の凡例 >

分類	橋脚工事	橋梁上部工事
完成		—
工事中		
令和7年度工事着手		

工事によっては、交通規制を伴いながらの施工となります。交通規制の期間や内容については詳細が決まり次第別途お知らせします。

※図の範囲外の2基1橋を含む ※上り線、下り線、IC橋の延べ延長